

土木工事が施工されます

工事名	工事量	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)	写真
ヨムギため池改修工事 (須恵東中学校南側)	工事長 L=66.0m 波受ブロック工 A=390.0㎡ 仮設道路 1.0式	15,000	県補助金 6,000 一般財源 9,000	
城山～樋の元線 道路改良工事	工事長 L=178.5m 排水工 L形側溝 700×320×600 178.5m 舗装工 車道舗装 t= 5cm 196.0㎡ 上層路盤 t=20cm 196.0㎡ 防護柵工 防護柵(ガードレール)設置 178.5m	9,000	一般財源 9,000	
城山上組1号線 道路改良工事	工事長 L=260.8m 排水工 落蓋側溝 300×300 498.3m 舗装工 車道舗装 t= 5cm 900.0㎡ 上層路盤 t=20cm 900.0㎡	20,000	一般財源 20,000	
東原林道 災害復旧工事 (須恵町～篠栗町 町境付近)	工事長 L=42.5m 擁壁工 20.0m 法面保護工 現場吹付法砕工 360.7㎡ 簡易法砕工 804.8㎡ 舗装工 車道舗装 t= 4cm 37.9㎡ 上層路盤 t=10cm 37.9㎡ 防護柵工 防護柵(ガードレール)設置 28.5m	25,000	県補助金 18,100 一般財源 6,900	

(全員賛成で可決)

予算執行および事務処理は適正か 平成21年度決算審査意見書要旨

平成21年度須恵町一般
会計、特別会計ならびに
水道事業会計について、



町長に意見書を提出する
百田監査委員(写真左)と貝原監査委員(写真中央)

監査委員による決算審査
が6月から8月にかけて
実施され、その結果が意

見書として9月1日、町長に提出されました。
審査に付された一般会計および特別会計の歳入歳出決算書・同事項別明細書・実質収支に関する調査および財産に関する調査ならびに水道事業会計の各決算資料等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。
また、予算の執行および関連する事務の処理は適正に行われているものと認められました。
平成19年6月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく「健全化判断比率」および「公営企業の資金不足比率」についても、正常化の範囲内であると認められました。
景気不況が続く中、今後とも税の徴収に努力され、住民福祉に邁進されることを期待します。

須恵ブランド堆肥完成

平成23年度4月から本格販売

須恵町堆肥センターを視察しました。
この堆肥センターでは、須恵町内の酪農家で組織する須恵町堆肥組合が、昭和55年から酪農事業により排出される牛ふんを原料に「オガクズ」を混ぜ合わせ、堆肥を製造していました。
一方、須恵町環境美化集積所には、町内美化作業や各家庭から排出される「草・木・剪定枝」が持ち込まれ、その処理に多額の費用がかかっていました。
そこで平成21年度から堆肥センターでは、今までの「オガクズ」に「草・木・剪定枝」を加え、資源を有効に活用した循環型で地球に優しい堆肥の製造を始めました。
環境美化集積所に搬入された「草・木・剪定枝」は、細かいチップ状に破



須恵町堆肥センター

砕され、堆肥センターへと運ばれます。
このチップ状にされた「草・木・剪定枝」を混ぜ合わせ堆肥を製造しているため、今までの堆肥よりもさらさらで色も濃く、より熟成した仕上がりとなっています。
この堆肥は、平成23年4月から本格的に販売が行われるそうです。